

【執筆要領】

- 1 FD・CD・USBでの入稿に際しては、使用したワープロソフトウェア名を明記すること。
- 2 使用したワープロソフトウェアが特殊なものである場合に限って、テキストファイルも添付すること。
- 3 見出しは、大見出し（漢数字一、二……）、中見出し（アラビア数字1、2……）、小見出し（①、②……）を用い、必要な場合にはさらに小さな見出し（i、ii……）をつけることができるが、章、節、項などは使わないこと。
- 4 注は、文末に（1）、（2）……と付す。なお、プリントアウトしたものの本文中に、注番号の位置を朱書きで明示すること。
- 5 引用・参考文献の示し方は以下の通りである。
 - ①洋書単行本の場合
K.Marx, *Grundrisse der Kritik der politischen Ökonomie*, Dietz Verlag, 1953, SS. 75-6（高木監訳『経済学批判要綱』（一）大月書店、一九五八年、七九頁）。
 - ②洋雑誌掲載論文の場合
E. Tokei, Lukacs and Hungarian Culture, in *The New Hungarian Quarterly*, Vol. 13, No. 47 (1972), p. 108.
 - ③和書単行本の場合
丸山眞男『現代政治の思想と行動』第二版、未來社、一九六四年、一四〇頁。
 - ④和雑誌掲載論文の場合
- 6 校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめ、校正段階での新たな加筆・訂正は認めない。
- 7 『政治思想研究』は縦組みであるが、本要領を遵守していれば横組み入力でも差し支えない。
- 8 「書評」および「学会研究会報告」は、一ページの字数が二九字×二四行×二段（すなわち二九字×四八行）という定型を採用するので、二九字×〇行（ただしタイトルスペースに「書評」は二二行、「学会研究会報告」は八行を空けておくこと）という体裁で入力する。
- 9 その他、形式面については第六号以降の方式を踏襲する。
- 10 坂本慶二「ブルードンの地域主義思想」、『現代思想』第五巻第八号、一九七七年、九八頁以下。
- 11 ⑤テキスト形式の場合
イタリックの書式情報は認識されないので、プリントアウトのものに赤のアンダーラインを引いて明示すること。
- 12 ⑥引用・参考文献として欧文文献を示す場合を除いて、原則として数字は漢数字を使う。
- 13 ⑦「」や「」、また「」（）等の括弧類は全角のものを使う。